



YOKOHAMA ASAHI ROTARY CLUB WEEKLY

世界へのプレゼントになろう

「世界へのプレゼントになろう」 *Be a gift to the world*

2015-16年度 RI会長/K.R.“ラビ”ラビンドラン RI.D2590ガバナー/箕田 敏彦 横浜旭RC会長/新川 尚

国際ロータリー第2590地区

横浜旭ロータリークラブ

事務所 横浜市旭区二俣川1-2 後藤ビル2F

TEL.045-365-3273

FAX.045-365-3132

Email:asahirc@titan.ocn.ne.jp

〒241-0821

例会場 二俣川相鉄ライフ4Fコミュニティサロン

例会日 毎週水曜日/12時30分～1時30分



2015年11月11日 第2220回例会 VOL. 47 No. 18

■司 会 SAA 二宮麻理子

■開会点鐘 会長 新川 尚

■齊 唱 我等の生業

SL 田川 富男

■出席報告

会 員 数	32 名	本日の出席数	24 名
本日の出席率	92.31%	修正出席率	100%

■本日の欠席者

漆原、佐藤 (真)

■他クラブ出席者

新川、後藤 (横浜東 RAC)

鈴木 (横浜瀬谷 RC)

松本 (北海道 2500 ロータリー E クラブ、

愛知ロータリー E クラブ)

■恵送を受けた週報

横浜瀬谷 RC

■誕生記念祝



鈴木茂之会員

10.25

■米山功労者表彰



安藤 公一会員 (第2回マルチプル)

吉原 則光会員 (第4回マルチプル)

太田 幸治会員 (第4回マルチプル)

■会長報告

皆様こんにちは。日曜日から続いた雨がようやく止みましたが、週末はまた雨の予報がでております。体調には十分ご注意頂きたいと思っております。

今週の土曜日(14日)は地区大会です。例年、二日間行われていましたが、今年度は土曜日一日だけとなりました。登録開始12時～点鐘13時～となっております。今年の記念講演は「ハードルを越える」と題して講師に為末大様をお迎えして開催されます。また五十嵐会員が尽力されたロータリーこども美術展も1Fフォワイエで展示されます。是非、お出かけいただきたいとおもいます。

来週の月曜日(16日)は親睦委員会による

この指とまれ企画、川崎競馬場ナイトレース観戦第二弾が開催されます。ライトの中を駆け抜ける競走馬はとても美しく、迫力があります。みんなでワイワイガヤガヤと予想しながら観戦するのはまた一味違った楽しみがあります。多くの皆様のご参加をお願いします。

○地区関係

米山奨学生・学友年末パーティー

日時 12月6日(日)午後6時～

場所 ホテルキャメロットジャパン

参加される方は事務局までご連絡ください。

■幹事報告

1) 例会臨時変更のお知らせ

日時 11月18日(水)夜間移動例会

点鐘 午後6時

神奈川県ロータリークラブ親睦野球

大会閉会式及び懇親会

場所 万葉倶楽部

横浜市中区新港 2-7-1

電話 045-663-4126

■雑誌委員会

滝澤 亮

第2590地区クラブ雑誌委員長会議報告

日時 11月5日(木)

場所 メモワールプラザソシア 21

当日は、第1部と第2部に分かれ15時から17時まで熱心に会議が行われました。

開会の辞としてロータリーの友地区代表委員の荒木彦次様よりお話がありました。特にその中で強調されていたことは、ロータリーの友あるいは、RI機関誌のThe Rotarianのどちらかを購読する義務があるということでした。日本で最大の発行部数を誇るロータリーの友を読んでもらえるように十分努力をする必要があるとのことでした。

そしていつものように出席役員の紹介があり、ガバナーの箕田敏彦様より挨拶があり、ガバナーが地区の常任委員として刊行に係わっていられた時の苦労話をされ、1冊200円を維持するために現在のA4変型判にし、字数を多くしロータリーの友の事務所の人員を数年かけて4人減らしたことなどをお話しになりました。

次に基調講演として、「ロータリーの友」に

ついてと題して一般社団法人ロータリーの友事務所所長・理事渡辺誠二（東京みなとRC）様からお話を伺いました。内容については昨年度と全く同一であるとのことゆえ昨年度の五十嵐委員長の部分と重複し、ここでは省略致します。

休憩の後、第2部のフォーラムとして参加者からの意見を取り、壇上の発表者に質問という形で討議を進めました。いくつか意見が出ましたが、ロータリーのマークについて質問があり、回答はロータリーの友11月号の35頁に出ているのでよく見てほしいとのことでした。またバックナンバーの1月号にもあるのでそれも参照したいとのことでした。

ただ、今年度については、新旧どちらでもよいとのことでした。バッチからバナーまですべてに絡む問題なので、次年度の青木会長宜しくお願い致します。

地区名の呼称について質問があり第2590地区（ニセンゴヒヤクキュウジュウチク）と呼称するのが正しいのか、古い会員などが使うダイニーゴーキュウマルチクが正しいのかとのことについては、箕田ガバナーより発言がありダイニーゴーキュウマルやキュウゼロについては、もっての他でありこれについては地区大会の時にガバナーのほうから説明があるそうです。

以上簡単にまとめてまいりました。

■チャリティーイベントの協賛のお願い

チャリティーコンサート部会 福村 正

拝啓、時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

今年度も、横浜旭ロータリークラブ主催による東日本大震災へのチャリティーコンサートを下記の要領で開催いたします。今回で第5回の開催となります。主な出演者は地域の中学校、高等学校の音楽部、軽音楽部に所属する生徒たちです。

開催のきっかけとなったのは先の東日本大震災です。被災地への復興支援と軽音楽に取り組みつつも演奏機会に恵まれない生徒諸君の文化活動支援を抱き合わせる形で開催しました。これまで4回の開催ですが、地域の生

徒の間でも大きな活動目標となり出演のない他校の先生や生徒からも関心が高まっています。生徒たちにとってはコンサートに参加することで復興支援に協力の意識が芽生えロータリーの奉仕活動への理解が広がっています。

第1回開催当初は4校でしたが回を重ねるごとに増え、今回は旭区の周辺地区の学校も加わり9校となっています。

前回からは旭区長から中学生、高校生への教育的効果を評価され旭区の後援をいただけるようになりました。地区からは復興支援と次世代奉仕にロータリーの奉仕活動の浸透を加えた多層的継続的奉仕活動として評価を受けています。

更に今回は友好クラブの岩沼ロータリークラブを通して、常盤木学園の音楽部が参加されます。ロータリーの奉仕活動の基本に立ち返り、旭区と東北の生徒たちの交流の支援も合わせて展開していく所存です。

今後、参加校の増加や卒業生の凱旋出演なども期待されており、イベントを継続していくには1ロータリークラブだけでは対応困難となっていきます。生徒たちの期待に応えていく為にも地元からの支援が切に望まれるところです。今般の厳しい経済状況のなかとは存じますが、以上の状況をご理解いただきぜひご支援を賜りますようご高配のほどお願い申し上げます。

尚、当日はこの日のために練習を重ねてきた生徒らの熱演が繰り広げられます。是非ご来観のほど併せてご案内させていただきます。

イベント名／

横浜旭ロータリークラブチャリティーコンサート

日時／平成28年1月11日(月)

午後1時開演、午後7時30分終演

場所／保土ヶ谷公会堂

出演者／

横浜市立左近山中学校音楽部、横浜商科大学高等学校軽音楽部、県立二俣川看護福祉高等学校軽音楽部、県立横浜旭陵高等学校軽音楽部、県立保土ヶ谷高等学校軽音楽部、県立瀬谷高等学校音楽部、富士見丘学園軽音楽部、

横浜隼人高等学校軽音楽部、(特別出演)宮城県仙台市私立常盤木学園高等学校軽音楽部、横浜旭ロータリークラブ有志

支援金送付先／

横浜銀行二俣川支店 普通 6037201

横浜旭ロータリークラブ募金積立

会計 佐藤聖子

■親睦委員会

北澤 正浩

クリスマス家族親睦会のお知らせ

日時 12月19(土)

来週までに出席をお知らせください。
よろしくお祈りします。

■社会奉仕委員会

田川 富男



10/18の旭区民まつりでは、復興米が完売となり、これも会員全員の努力の結果と思います。又、岩沼RCから10kgの新米を頂きました。今回、米米オークションを致し、福村会員が5,000円で落札し、支援金として受け取りました。

■ニコニコBOX(会員敬称略)

新川 尚／内田さん、卓話宜しくお祈り致します。

市川 慎二／内田さん、卓話楽しみにしています。

内田 敏／久しぶりの卓話です。耳ざわりかも知れませんが、又お聞き苦しい点もあると思いますが、ご容赦下さい。

後藤 英則／内田さん、本日の卓話楽し味です。

田川 富男／内田さん、職業卓話よろしくお祈りします。又、区民まつりではいろいろお世話になり有難うございました。

安藤 公一／①内田さん、卓話宜しくお祈り致します。②祝、7人制ラグビー男子日本代

表オリンピック出場。女子は今週末の東京大会で2位に入れば、出場権が得られます。

佐藤 利明／内田敏様、本日の卓話楽しみにしています。

岡田 清七／内田会員の職業卓話、楽しみに聞かせていただきます。

二宮麻理子／内田さん、卓話楽しみにしています。

斉藤 善孝／内田さん、本日の卓話楽しみです。

滝澤 亮／内田さん、卓話楽しみです。

鈴木 茂之／皆さん、こんにちは。久しぶりに出席しました。本日の卓話、内田さん楽しみにしています。よろしくお願いします。

五十嵐 正／松本さん、先日の車のエンストの件では大変お世話になりました。結局バッテリー交換となりました。

福村 正／①内田さん、卓話楽しみです。②来年1/11のチャリティーコンサートの協賛をお願いします。

北澤 正浩／内田さん、卓話楽しみにしております。

■職業卓話「材木と私」 内田 敏



皆様こんにちは。本日は職業卓話となっております。お聞き苦しい点をご容赦下さい。

私の職業分類は材木屋です。市場問屋、産地、付売問屋（市場を通さず小売店と問屋とが直接売買取引する事）から製材品を仕入れ建設会社、工務店、大工さん等の方々を買って頂く職業です。まれに一般の方にも直接買っていただく事もあります。今日は私事の話をごさせて頂きます。

私は二代目、初代、親父はここ二俣川の農

家の生まれで三男坊。お百姓をやるのが嫌で知り合いのついでで和田町にあった材木屋で修業し、独立して神奈川県相模湖藤野町に隣接する山梨県野原町で原木専門店を開業。立木を一山買い上げ、きこり職人が立木を伐採、木の種類は杉、桧材が主で定尺20尺、13尺、10尺、6尺の長さに玉切りし、ちなみに今で言う20尺は6m、13尺は4m、10尺は3m、6尺は約1.8mの長さにして、山から牛、馬力、鉄索、山ざり等を使って土場（原木の集荷場）に集め、当時は輸送方法として今とは違って自動車輸送より鉄道貨車を利用していたので、土場から牛車、馬車で駅の集荷場に集め、貨車で東京横浜方面の製材工場へ杉、桧などの原木（丸太）を毎日貨車7台分出荷していました。

これらの製材工場は川や海のそばにあり、それらを貯木場として利用していました。又、外国から港に材木が入ると、いかだに組んで川や海を利用し製材工場へと運んでいました。毎日貨車7台分の木材を出荷するのに、きこり職人をはじめ、人夫さんが100～150人ほど出荷作業にあたっていたようです。ちょっとした話がありまして、一日の手間の支払いは朝仕事をする前に一人一人に支払っていたそうです。その日の作業を終わって山からまともに帰ってくる人は半分くらいになっていて途中で山を抜け出ていく人があり、それからは一日の作業がおわってから手間賃を支払うようになったようです。

私は昭和16年生まれです。戦争が次第に激しくなり、親父も国内の軍需工場に徴用され、おふくろ一人になり、山梨の上野原町での商売は一時休業しました。戦争が終わり、親父は二俣川の生まれでしたので、二俣川で再び材木屋を開業。ここでも近隣の山主さんから立木を売ってもらい地元の人を雇い、山から原木（丸太）を切り出し、桐ヶ作にあった製材工場で製品にして販売していました。今でこそ近くに山はありませんが、当時この近くには杉、桧、松等の立派な立木がある山がありました。

例えば、横浜カントリー、戸塚カントリー

のゴルフ場になる前、その他岡津町、名瀬町、阿久和、緑園都市、左近山団地、東戸塚の川上団地になる前、ほか瀬谷、少し離れたところで港北ニュータウンなど。

木の種類としては杉、桧、松、サワラ、ケヤキ等です。杉は製品として柱角、桁材、板材、造作材、桧は柱角、土台角、板材、造作材、松は平角、梁、丸太、根太材等、木造建築に必要な主だった製品にし、サワラは主に桶材として、ケヤキは臼木造船の修理材として販売しました。この様にちかくには立派な立木が沢山ありましたので結構商売になったようです。でも戦後まもない頃は半商半農で生計を立てていました。

次第に商売も軌道に乗り原木を自分の所で製品にするために製材工場を作りました。昭和26年です。場所は今の保土ヶ谷バイパス本村インターの高架下に作りました。私が10歳位の時です。製材工場といっても最初は直径1mぐらいの丸鋸製材機を設置し、製材品を作り販売。しばらくして静岡県の清水から本格的な帯鋸盤の製材機を設置、製品を同業の材木屋さんや市場に出品、もちろん工務店さん、大工さん等に販売、近くの山主さんから頼まれ、丸太を製品に加工してあげ、賃挽料を頂く仕事も始めました。

これがかなりの収益になりました。中でも製材での思い出になっているのが、瀬谷の山主さんで自分の山から切り出した長さ6mの丸太を10数本もって来られ、太さ40cmぐらいに八角形に製材し、これを大工さんが丸柱に仕上げ、後にお寺の柱材だと聞かされました。材木屋も時につれて木材製品を売るだけではなく、新建材が出はじめ住宅建築に必要ないろいろな製品を扱うようになりました。

合板(ベニヤ板)、合板を基材にした床材(フローア)、窓枠、巾木、廻りプチ等の内装材、内装用の壁材(プリンと合板)、壁下地材、天井材、外壁材(サイディング)、屋根材(コロナアル、カラーベスト)、内装の木製建具等、又、住宅設備に関する製品、台所セット、洗面ユニット、浴槽、浴室セット(ユニットバス)、風呂釜、給湯器、換気扇、トイレセット、

照明器具、CF製品、外窓のアルミサッシ等、外構製品ではアルミ、スチール製のフェンス、内扉、アルミ車庫、スチール物置、デッキ材、アルミベランダ等住宅建築に関する多種多様の製品を取り扱うようになりました。お客様の要望もあり、木材製品を売っているだけでは商売にならなくなったのです。私の所でも59年前に建築工事業の県知事許可を取得し、新築工事、リフォーム工事を行うようになり、それ故に材木以外の住宅に関する製品を多く扱うようになった訳です。

話が変わりますが、皆様ご存知と思いますが、国土の70%は森、そこには多種の樹木が生育しており、木材をいろいろな用途に利用しております。私たちにとって木材は大変馴染みのあるものです。

*日本の国の面積は3778万ヘクタール、森林が70%だとして2600万ヘクタール、1ヘクタールは100アール→1万㎡、100アールは約3,030坪

○樹について

樹については針葉樹と広葉樹があります。針葉樹とは葉が針のように細長い杉、桧、赤松、ツガ、ヒバ、サワラ等です。

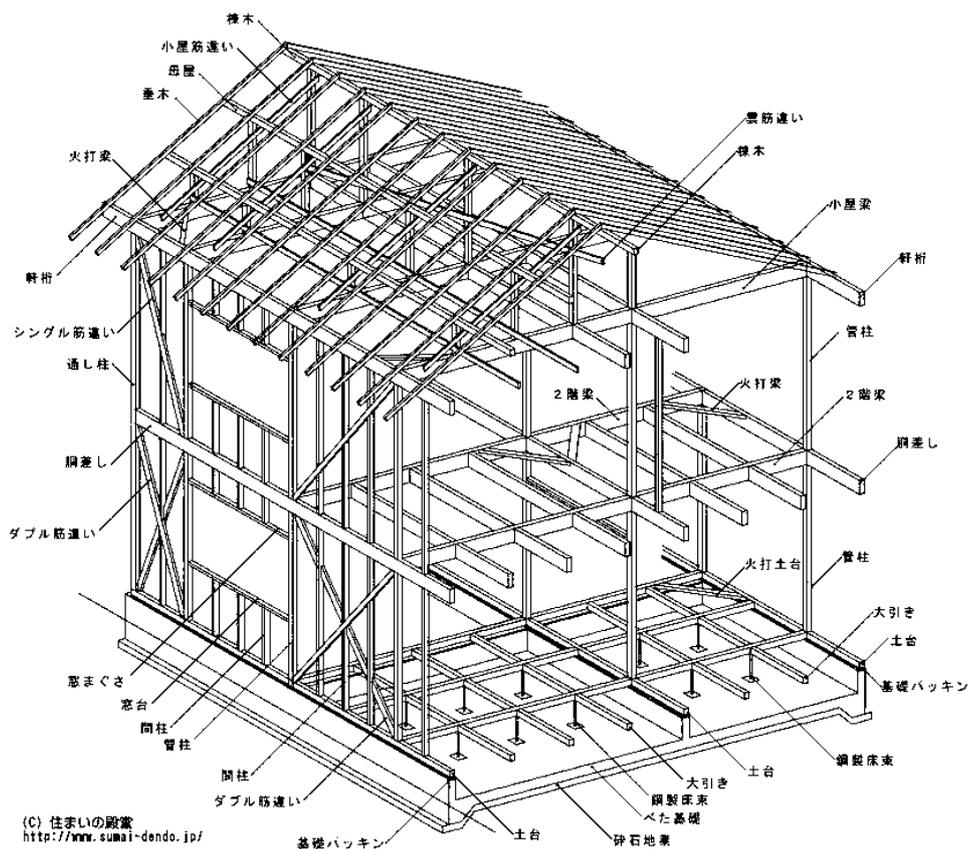
針葉樹の特徴

- ①杉は軟質で杢目が揃っていて、用途としては構造材仕上げ用材の建築用材。
- ②桧は香高く上質な建築材、用途としては杉と同様、構造材、仕上げ用材、建築全般。
- ③赤松は耐湿性があり、用途としては杉、桧と同じように構造材及び造作材として。
- ④ツガは光沢があり、高耐久性もあり、用途は構造材、造作材として。
- ⑤ヒバは対処性が高く、用途は構造材、造作材として。
- ⑥サワラは耐湿性があり、桶材として主に使われています。

広葉樹とは幅の広い葉をつけるケヤキ、桐、桜、ブナ、ナラ、タモ等。

広葉樹の特徴

- ①ケヤキは光沢があり、曲がり少なく杢目が美しい。用途としては家具材、建具、又は造作材として使われ、昔の家の大黒柱と



いけばケヤキでした。

- ②桐は軽量で加工性が高く、建具や家具（タンス等）材として、桜は硬質であり、用途は家具材、造作材として。
- ③ブナは乾燥しやすく収縮が大きいのが主に床材として。
- ④ナラはやや硬質で、用途としては床材、家具材、建具材として。
- ⑤タモは杳目が美しく家具、建具材として使われています。

先程、日本の国土の70%が森林といただきましたが、日本の木材の自給率は1995年94.5%、2014年は28.6%だそうです。これは国産材の減少と外材輸入の増加によるもので、林野庁は国産材を利用してもらうため、木材利用ポイント事業を実施しています。

木材利用ポイント事業とは、杉、桧などの地域材を基準以上に利用するなどの条件を満たした木造住宅に30万ポイント付与されます。(1ポイントは1円相当)ポイントをりようして交換できる商品等もあり、地域の農林水産品、全国型商品券、プリペイドカード、地域型商品券などに交換できます。地域材の

利用は森林の保全、地球温暖化の防止に貢献し、地域の振興にもつながります。

○住宅建築に関する工法について

“在来工法”、“2×4工法”（ツーバイフォー工法）があります。在来工法とは古くから日本で発展してきた住宅建築の伝統工法で木造軸組工法、これは主に柱や梁といった軸組で躯体を構成し支えている木材構造の工事工法です。

又、在来工法は木材の柱や梁を軸組みに自由な組み合わせが出来、2×4工法より自由設計度が高いです。

2×4工法とは、厚さ2インチ、幅4インチの角材で構成された枠組みに構造用合板を打ちつけたパネルによって壁や床を構成する工法をいいます。その角材のサイズから2×4工法とっています。建物を壁面で支えるため地震に強いのが特徴です。欧米では標準の木造建築ですが、高温多湿の日本では問題が起きることもあります。

■次週の卓話

11/25(水) 太田幸治会員

週報担当 杉山 雅彦